

科目名称：	スキー・スノーボード演習	
担当者名：	廣瀬 元、若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>本授業は春季休暇中に集中形式で行います。冬の代表的なスノースポーツであるスキー・スノーボードについて、安全で楽しいスノースポーツの理解と基礎技術・マナーを修得しながら雪山の大自然を体験し、自然環境に対する知識や意識を高めます。また、スキー・スノーボードを通して、全身運動による楽しさや達成感を獲得します。さらに、合宿形態の集団生活を通して新しい出会いを創出し、友情を深め、学友間の協力助け合いを図り人間性を豊かにします。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーボード講義「スノーボードと安全」により、安全で楽しいスノースポーツを理解する。</li> <li>・現地スキースクールの指導員による「実技講習」を通してスキー・スノーボードの基本技術を学び、様々なゲレンデコースを安全に滑走することができる。</li> <li>・冬期、特に積雪地の自然を体験することで、環境に対する理解を深める。</li> <li>・学生間および教員とのコミュニケーションを積極的に図ることで、コミュニケーション能力を向上させる。</li> </ul>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)			40	60	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	とてもよい	よい	まあまあ	要努力
スキー・スノーボードの学習に主体的に取り組もうとしている（関心・意欲・態度）	主体的な取り組みで授業時間を常に有効に使用している	主体的な取り組みで授業時間を有効に使用している	主体的な取り組みで授業時間を有効に使用している姿勢が見られる場面と見られない場面がある	主体的な取り組みで授業時間を有効に使用している姿がほとんど見られない
グループ講習の際、仲間のよい動きなどを指摘している（思考・判断）	仲間のよい動きや工夫などを複数の具体例をあげて指摘している	仲間のよい動きや工夫などを一つの具体例をあげて指摘している	仲間のよい動きや工夫などを指摘しているが具体性に欠ける	仲間のよい動きや工夫などに指摘がない
スキー・スノーボードの滑走技能（技能・知識）	スキー・スノーボードの滑走技能の向上が非常によく見られる	スキー・スノーボードの滑走技能の向上が概ね見られる	スキー・スノーボードの滑走技能の向上が若干見られ、課題がまだ残る	スキー・スノーボードの滑走技能の向上がほとんど見られない
スキー・スノーボードの滑走、雪山での安全面の知識（知識・技能）	スキー・スノーボードの滑走、雪山での安全面の知識についてよく理解し、安全に対してよく配慮し行動している	スキー・スノーボードの滑走、雪山での安全面の知識について概ね理解し、安全に配慮して行動している	スキー・スノーボードの滑走、雪山での安全面の知識について理解、配慮した行動が見られる部分とそうでない部分が見られる	スキー・スノーボードの滑走、雪山での安全面の知識について理解しておらず、安全な行動がとれない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 事前オリエンテーション。レベル調査・班分け等。スキー・スノーボードの注意点。レンタル調査他。	このシラバスを精読しておく。ビデオ等でイメージトレーニングをしておく。	20分
第2回 【実習 1日目 午後】スキー・スノーボード基礎① 準備体操、ボードの装着の仕方、安全な転び方練習	スキー・スノーボードの基礎を復習	10分
第3回 【実習 1日目 午後】スキー・スノーボード基礎② 片足装着でのスケータリング&ターン	スキー・スノーボードの基礎を復習	10分
第4回 【実習 1日目 夜】スキー・スノーボードメンテナンス実習。夕食後「スノーボードと安全」講義	スキー・スノーボードの基礎を復習 各自で筋肉痛などへのケアをする	30分
第5回 【実習 2日目 午前】スキー・スノーボード基礎③ 片足リフト乗車⇒リフト降車、サイドスリップ滑走	スキー・スノーボードの基礎を復習	10分
第6回 【実習 2日目 午前】スキー・スノーボード基礎④ 準備体操、前時の復習(片足装着でのスケータリング)	スキー・スノーボードの基礎を復習 各自、シップ・テーピング等で筋肉痛に対応	10分
第7回 【実習 2日目 午後】スキー・スノーボード基礎⑤ リフト乗降⇒サイドスリップ⇒木の葉落とし	スキー・スノーボードの基礎を復習 前日の指導内容をイメージトレーニング	10分
第8回 【実習 2日目 午後】スキー・スノーボード基礎⑥ 斜滑降⇒ギルランデ⇒山回りターン練習	スキー・スノーボードの基礎を復習	10分
第9回 【実習 2日目 夜】スキー・スノーボード講話 3日目の日程及び注意事項伝達、ナイトスキー	スキー・スノーボードの基礎を復習 各自で筋肉痛などへのケアをする	30分
第10回 【実習 3日目 午前】スキー・スノーボード基礎⑦ 斜滑降⇒谷回りターン練習、連続ターン練習	スキー・スノーボードの基礎を復習	10分
第11回 【実習 3日目 午前】スキー・スノーボード基礎⑧ 自由滑降①(グループで互いの滑走についてディスカッションをしながら進める)	スキー・スノーボードの基礎を復習 グループ行動での滑走ゲレンデを計画	10分
第12回 【実習 3日目 午後】スキー・スノーボード基礎⑨ 自由滑降②	スキー・スノーボードの基礎を復習	10分
第13回 【実習 3日目 午後】スキー・スノーボード基礎⑩ 自由滑降③	スキー・スノーボードの基礎を復習	30分
第14回 成果発表【4日目 午前】 初級ゲレンデで、各自の滑走能力を発表する。	グループの滑走発表準備	10分
第15回 振り返りとまとめ ディスカッションを行う (事前配布用紙に詳細に記入して提出)	これまでの実習についてレポートにまとめておく。	10分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、学んだ技術を次回に実践し、講師がそれを確認することになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
実習活動状況・授業への貢献・積極的関与を60%、レポートを30%、予習プリントを10%として評価する。

#### 課題に対するフィードバック

その場で対応する

#### 教科書・参考書

プリントを配付する。  
※教科書・参考書の記載を明確に書いてください。